



ログインサーバー 管理アプリケーションのヘルプ ArcSuite 4.0

はじめに

このたびは富士フィルムビジネスイノベーションのArcSuite®をご利用いただき、まことにありがとうございます。

一般に、企業活動では、各業務に関する情報はさまざまな形態のドキュメントとして存在しています。ここでいうドキュメントとは、紙に書かれた文書だけを示す狭義のものではありません。紙はもちろんのこと、ホワイトボードに書かれた文字や図表、プロジェクターやテレビに映し出された映像などを含む広義なものを指します。

ドキュメントは一般に、ひとりの手で作成されるものではなく、複数の人の意見交換や討議を経て作成されます。単純な作業や複雑な計算はコンピューターに委ねられ、あらゆる分野でさまざまなソリューションが展開されていますが、ドキュメントの作成では一般に人が中心なのです。

ArcSuiteは、「ドキュメント」に着目して「人」と「人」をつなぐ、「ドキュメント指向」のソリューション・パッケージです。ArcSuiteをご利用いただくことによって、さまざまなコンピューターシステムを統合したうえでのドキュメントの共有や管理が可能になります。

お使いの商品構成によって、次の機能が標準で提供されないことがあります。

コラボスペース、ドキュメントレビューオプション、ワークフロー、分類ビュー、関連文書検索サービス、原本性保証オプション、キャプチャリングサービス、統合検索サービス、オンラインバックアップオプション、ドキュメント一括操作ツール、連携フォルダ for DocuWorks、連携オプション for Working Folder

本書の内容は、Microsoft Windows Operating System、およびWebブラウザの基本的な知識や操作方法を習得されているかたを対象として記述しています。

Excel、Microsoft、Windows、およびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Xerox、Xeroxロゴ、およびFuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

その他の社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。

ご注意

- ・ 本書の編集、変更、または無断での転載はしないでください。
- ・ 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本書に記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。

ArcSuite、およびDocuWorksは、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

著作権について

本ソフトウェア、およびバックアップのために複製されたソフトウェアに関する著作権等を含む一切の無体財産権は、弊社および弊社への供給者に帰属します。

(c) 2002-2021 FUJIFILM Business Innovation Corp.

マニュアル体系

ArcSuiteには、次のマニュアルおよびヘルプがあります。

マニュアルは、PDFファイルまたはヘルプの形式で提供しています。

主なマニュアルは、『ポータル画面のヘルプ』から参照できます。『ポータル画面のヘルプ』は、Webブラウザの操作画面にある【ヘルプ】から表示できます。

補足 お使いの商品構成によっては、提供されない機能の説明がマニュアルに含まれることがあります。

■ 管理者ユーザー向け

名称	概要
セットアップガイド	本製品全体のセットアップ方法について説明しています。
システム管理者ガイド	リソース管理サービスの概要、機能、管理操作を行うコマンドについて説明しています。また、本製品の運用に必要な管理作業について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理者ガイド	ドキュメント管理サービスの概要、機能、および管理操作を行うコマンドについて説明しています。
ドキュメント管理サービス管理アプリケーション デスクトップ版のヘルプ	サーバーで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理アプリケーション Web版のヘルプ	クライアントPCで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
オフラインバックアップ・リストア運用ガイド	オフラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。
リソース管理アプリケーションのヘルプ	ユーザー、グループ、ユーザーロールの追加、およびライセンスの編集、検索について説明しています。
ログインサーバー管理アプリケーションのヘルプ (本書)	ログインサーバーでの認証モードの設定について説明しています。
メッセージ通知管理アプリケーションのヘルプ	メッセージ通知サーバーの設定、メッセージのプール管理、メッセージテンプレートの設定について説明しています。
ポータル管理アプリケーションのヘルプ	ユーザープロフィールに表示する項目の設定、お知らせの設定について説明しています。
ドキュメントスペース管理アプリケーションのヘルプ	属性テンプレートや表示する属性の設定、表示するボタンの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。
表示アプリケーション管理ツールのヘルプ	表示アプリケーションのテンプレート、システム環境の設定について説明しています。
ログ管理アプリケーションのヘルプ	ログを表示する機能、ログを取得する機能、および保守情報を一括で取得する機能について説明しています。

名称	概要
監視ツールのヘルプ	ArcSuiteのコンポーネントにアクセスしているユーザー、データベースの状態、およびセッションの状態を監視する機能について説明しています。
ドキュメントスペースドキュメント操作URLリファレンスガイド	ドキュメントスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
オンラインバックアップ・リストア運用ガイド	オンラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。
e-文書法対応 概要説明書	e-文書法対応の概要および原本性保証オプションの機能について説明しています。
コラボスペース管理アプリケーションのヘルプ	コラボスペースのメールの設定、ログの設定、およびタスクやメッセージの用語をカスタマイズする設定について説明しています。
ワークフロー管理アプリケーションのヘルプ	ワークフロー定義または起動テンプレートの作成者および公開者の設定、ログの設定、外部コマンドの設定について説明しています。
キャプチャリング管理アプリケーションのヘルプ	キャプチャリングサービスの監視キューに対する操作について説明しています。
統合検索サービス管理アプリケーションのヘルプ	統合検索サービスのリソースの設定、収集スケジュールの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。
コラボスペースタスク操作URLリファレンスガイド	コラボスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
ワークフロー操作URLリファレンスガイド	ワークフローの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
Webサービスインターフェイスリファレンスガイド	ArcSuiteの機能にSOAPを使用して接続するAPIについて説明しています。
ドキュメント管理サービスSDKリファレンスガイド	ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。
コラボスペースInterface Toolkitリファレンスガイド	コラボスペースのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。
ワークフロー Interface Toolkitリファレンスガイド	ワークフローのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。

■ クライアントユーザー向け

名称	概要
ポータル画面のヘルプ	ポータル画面で、お気に入りの編集、ユーザープロフィールを変更する操作について説明しています。 Webブラウザの操作画面にある【ヘルプ】から参照してください。
アドレス帳のヘルプ	アドレス帳で、ユーザー、グループ、ユーザーロール、およびタスクを検索する操作について説明しています。
ドキュメントスペースのヘルプ	ドキュメントスペースで、登録、属性の変更、検索などのドキュメントを管理する機能の操作について説明しています。
表示アプリケーションのヘルプ	表示アプリケーションで、ブラウザーイメージ変換された画像を編集する操作、およびユーザー設定について説明しています。
検索条件式のヘルプ	ドキュメントスペースの詳細検索で、全文検索または属性検索の条件式をXMLで指定するときの記述方法について説明しています。

名称	概要
簡易操作のヘルプ	簡易操作画面でドキュメントを管理する機能の操作、および操作画面の設定方法について説明しています。
コラボスペースのヘルプ	コラボスペースで、タスクの作成、メッセージの登録、および検索などの操作について説明しています。
ワークフローのヘルプ	ワークフローで、ワークフロー定義の作成、公開および起動する操作、作業を実行する操作について説明しています。
ドキュメント一括操作ツール説明書	Microsoft Excelを使って、ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理する操作について説明しています。
デスクトップクライアント セットアップガイド	デスクトップクライアントのセットアップ方法について説明しています。
デスクトップクライアント 操作説明書	デスクトップクライアントで、ドキュメント管理サービスのフォルダーやドキュメントにアクセスする操作方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorks セットアップガイド	連携フォルダ for DocuWorksのセットアップ方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorksの ヘルプ (*1)	DocuWorks Deskで、ArcSuiteに登録されているドキュメントを操作する方法について説明しています。

* 1: 連携フォルダ for DocuWorks をインストールした DocuWorks Desk のヘルプから参照してください。

本書の使い方

本書は、ArcSuiteの基本的な操作について説明しています。

■ 本書の構成

本書は、次の章と付録から構成されています。

[1 ログインサーバー管理アプリケーションとは](#)

ログインサーバー管理アプリケーションの概要について説明しています。

[2 ログインサーバー管理アプリケーションでできること](#)

管理画面の操作方法について説明しています。

[付録](#)

認証ログを記録する設定を管理する機能で使用できる設定パラメーターについて説明します。

■ 本書の表記

・ 本書では、次の記号を使用しています。

< > キー	キーボードのキーを表します。 例：<Enter>キーを押します。
[]	画面に表示されるメニュー、ボタン、項目を表します。 例：[新規作成] をクリックします。
[]	同一マニュアル内の参照箇所を表します。 また、強調する用語やメッセージも表します。 例：「1 概要」 「名前が指定されていません。」と表示されます。

『 』	参照するマニュアルの名前を表します。 例：『システム管理者ガイド』
{ }	ユーザー名やサーバー名など、操作時に変わる値を表します。 例：[{ユーザー名}] をクリックします。
>	メニューやWebページの階層を表します。 例：[システムとセキュリティ] > [管理ツール]
注記	一般的な注意事項を表します。
補足	機能や操作に関する補足説明を表します。
参照	参照する事項があることを表します。
<u> </u>	参照先タイトルやページへのリンクがあることを表します。 例： _1 概要_ (P.6)

- ・ Microsoft Windows Operating System を「Windows」と表記しています。
- ・ パーソナルコンピューターを「PC」と表記しています。
- ・ お使いの環境によって、マニュアルに記載の画面と実際の画面が異なることがあります。

目次

1	ログインサーバー管理アプリケーションとは	
1.1	管理アプリケーションとは.....	9
2	ログインサーバー管理アプリケーションでできること	
2.1	管理アプリケーションを起動する	11
2.1.1	管理アプリケーションを起動する手順.....	11
2.2	管理メニューを選択する	12
2.3	パラメーターを管理する	13
2.3.1	[パラメーター管理] ページの構成	13
2.3.2	パラメーターを管理する手順	13
2.4	自動ログインを管理する	14
2.4.1	[自動ログイン管理] ページの構成	14
2.4.2	自動ログインを管理する手順	14
2.5	自動ログインを無効にする.....	15
2.5.1	[自動ログイン無効化] ページの構成.....	15
2.5.2	自動ログインを無効にする手順.....	15
2.6	ログインサーバーを再初期化する	16
2.6.1	[操作] ページの構成	16
2.6.2	ログインサーバーを再初期化する手順.....	16
2.7	認証ログを記録する設定を管理する	17
2.7.1	[認証ログデータベース管理] ページの構成.....	17
2.7.2	認証ログを記録する手順.....	18
2.7.3	認証ログを削除する手順.....	18
2.7.4	認証ログの記録設定を解除する手順	18
2.8	管理アプリケーションを終了する	19
2.8.1	管理アプリケーションを終了する手順.....	19

付録

付録A	ログインサーバー管理アプリケーションを使うための準備	21
付録 A.1	設定できるパラメーター	21
付録 A.2	設定パラメーターを追加する.....	21

1 ログインサーバー管理アプリケーション とは

ログインサーバー管理アプリケーションの概要について説明します。

1.1 管理アプリケーションとは

ログインサーバー管理アプリケーションは、ログインサーバーを管理するためのWebアプリケーションです。次の管理作業ができます。

- ・ [パラメーターを管理する](#)
- ・ [管理メニューを選択する](#)
- ・ [自動ログインを管理する](#)
- ・ [自動ログインを無効にする](#)
- ・ [ログインサーバーを再初期化する](#)
- ・ [認証ログを記録する設定を管理する](#)

2 ログインサーバー管理アプリケーション でできること

管理画面の表示方法と内容について説明します。

2.1 管理アプリケーションを起動する

ログインサーバー管理アプリケーションは、ログインの認証モードや自動ログインに関する内容を設定できます。

メニュー

名前	値
認証モード	auto
自動ログインの有効期間(分)	10080
自動ログインのサーバーID	
X-SSLヘッダの使用	<input type="radio"/> TRUE <input checked="" type="radio"/> FALSE

設定 リセット

図：管理画面

2.1.1 管理アプリケーションを起動する手順

1. [ポータル] 画面で、[システム管理] リンクをクリックします。
[システム管理] 画面が表示されます。
2. [システム管理] 画面の左側にある [システム管理] から、[ログイン] をクリックします。
画面の右側に、ログインサーバーの情報が表示されます。
3. 管理アプリケーションのリンクをクリックします。
[管理ログイン] 画面が表示されます。
4. 管理アプリケーションの管理者権限を持つユーザーの [ユーザー ID] と [パスワード] を入力します。
5. [ログイン] をクリックします。
[パラメーター管理] 画面が表示されます。

2.2 管理メニューを選択する

メニューにある各項目をクリックして管理メニューを選択します。



☒：管理メニュー

メニューの各項目について説明します。

項目	説明
[パラメーター管理]	クリックすると、[パラメーター管理] ページが表示されます。
[操作]	クリックすると、[操作] ページが表示されます。
[自動ログイン管理]	クリックすると、[自動ログイン管理] ページが表示されます。 なお、認証モードが自動ログインでない場合、[自動ログイン管理] メニューは表示されません。
[自動ログイン無効化]	クリックすると、[自動ログイン無効化] ページが表示されます。 なお、認証モードが自動ログインでない場合、[自動ログイン無効化] メニューは表示されません。
[認証ログデータベース管理]	クリックすると、[認証ログデータベース管理] ページが表示されます。

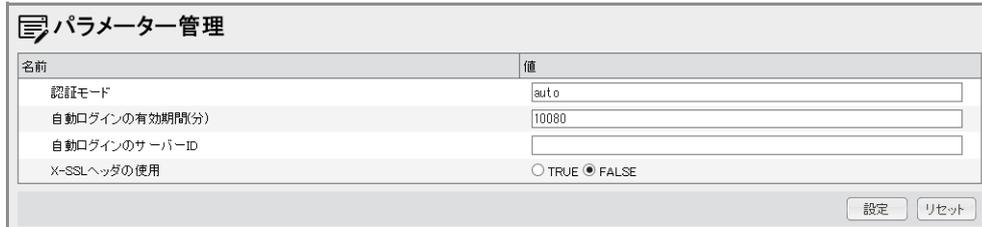
2.3 パラメーターを管理する

ArcSuiteの認証モードなど、ログインサーバーのパラメーターを管理します。

ここでは、ログインサーバーの状態を確認して、パラメーターを管理する手順を説明します。

2.3.1 [パラメーター管理] ページの構成

メニューから [パラメーター管理] を選択します。[パラメーター管理] ページが表示されます。



名前	値
認証モード	auto
自動ログインの有効期間(分)	10080
自動ログインのサーバーID	
X-SSLヘッダの使用	<input type="radio"/> TRUE <input checked="" type="radio"/> FALSE

図：[パラメーター管理] ページ

2.3.2 パラメーターを管理する手順

1. [認証モード] に、設定するモードに応じて次のどれかの文字列を入力します。

- ・ auto
自動ログイン
- ・ form
フォームによる認証
- ・ ssl
クライアント証明書による認証
- ・ ssl+form
クライアント証明書による認証とフォームによる認証の併用
- ・ windows
統合 Windows 認証

補足 統合 Windows 認証とほかの認証モードとの間の変更の場合には、ほかに変更が必要な設定があります。詳細は、『セットアップガイド』を参照してください。

注記 認証モードに入力する文字列は、必ず半角で指定してください。

2. [自動ログインの有効期間 (分)] に、必要に応じて設定する時間を整数値で入力します。

補足 設定単位は分です。設定しない場合は、10080分 (1週間) となります。

3. [自動ログインのサーバー ID] に、必要に応じて設定するサーバー ID を入力します。

補足 通常はサーバーが自動的に適切な値を選択するため、設定する必要はありません。

4. [X-SSL ヘッダの使用] で、[TRUE] または [FALSE] どちらかのラジオボタンを選択します。

補足 通常は使用しないため、ラジオボタンを選択しないか、[FALSE] を選択してください。使用する場合は、[TRUE] を選択してください。

5. [設定] をクリックします。

[パラメーター変更結果] ページが表示されます。

6. [OK] をクリックします。

ログインサーバー管理アプリケーションの管理画面に戻ります。

補足 [パラメーター管理] ページで編集した内容は、ログインサーバーにすぐに適用されます。

2.4 自動ログインを管理する

ここでは、認証モードが「自動ログイン」の場合に、自動ログイン状態を保存するかどうかを設定したり、自動ログイン状態を初期化する手順を説明します。

自動ログイン状態を保存しない設定にした場合は、データベースサーバーを再起動したときに自動ログイン状態が初期化されます。

また、自動ログイン状態を初期化すると、ログインサーバー内で保持している秘密情報を更新し、すべてのクライアントの保存情報が無効化されます。この結果、ログイン中のユーザーが同一のマシンからアクセスする場合を除いて、すべてのクライアントに対してログインフォーム（ログイン画面）が表示されるようになり、各クライアントの秘密情報が再生成されます。

注記 認証モードが自動ログインでない場合は、この操作はできません。

2.4.1 [自動ログイン管理] ページの構成

メニューから [自動ログイン管理] を選択します。

[自動ログイン管理] ページが表示されます。

2.4.2 自動ログインを管理する手順

1. [自動ログイン状態の保存] で、[する] または [しない] のどちらかのラジオボタンを選択して、[設定] をクリックします。
2. 自動ログイン状態を初期化する場合は、[初期化] をクリックします。
初期化が実行され、[自動ログイン初期化日時] が更新されます。

2.5 自動ログインを無効にする

ここでは、認証モードが「自動ログイン」の場合に、自動ログインを無効にする手順を説明します。

注記 認証モードが自動ログインでない場合は、この操作はできません。

2.5.1 [自動ログイン無効化] ページの構成

メニューから [自動ログイン無効化] を選択します。

[自動ログイン無効化] ページが表示されます。

補足 [自動ログイン無効化] ページのリストに表示されるユーザーは 100 人までです。表示されるユーザーが多すぎる場合に、フィルター機能を使用して、表示するユーザーを絞り込むことができます。



図：[自動ログイン無効化] ページ

2.5.2 自動ログインを無効にする手順

1. [フィルター] に、表示対象ユーザーを絞り込むための条件を入力します。
2. [検索] をクリックします。
自動ログイン中のユーザーが、検索結果のリストとして表示されます。
補足 [フィルター] に何も入力しないで [検索] をクリックした場合は、すべてのユーザーが一覧で表示されます。
3. リストに表示されているユーザーの中から、自動ログインを無効にするユーザーの [無効化] をクリックします。
自動ログインを無効にする設定がされて、[無効化] をクリックしたユーザーが、リストに表示されなくなります。

2.6 ログインサーバーを再初期化する

ログインサーバー管理アプリケーションで設定できない項目をリソース管理アプリケーションで設定した場合には、ログインサーバーの再初期化が必要です。

ここでは、ログインサーバーを再初期化する手順を説明します。

ログインサーバーを再初期化すると、ログインサーバーの各種設定が読み直され、キャッシュが再生成されます。

2.6.1 [操作] ページの構成

メニューから [操作] を選択します。

[操作] ページが表示されます。

2.6.2 ログインサーバーを再初期化する手順

1. [実行] をクリックします。
ログインサーバーの情報が再初期化されます。

2.7 認証ログを記録する設定を管理する

認証ログとは、ArcSuiteにログイン、ログアウトしたとき、または管理アプリケーションにログインしたときのログです。認証ログを記録するために初期化したり、日々の運用で確認するために情報を確認したりできます。認証ログを記録しなくなったら設定解除できます。

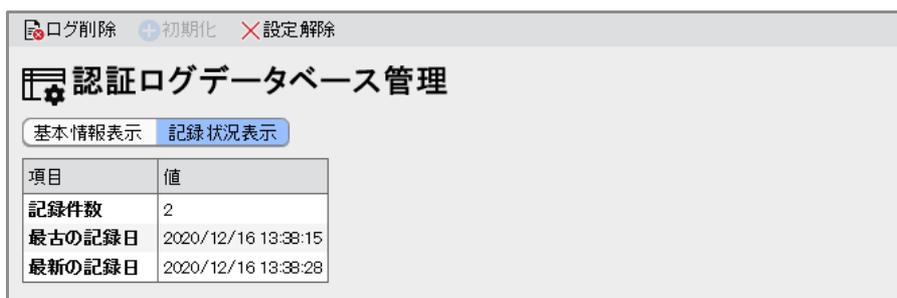
2.7.1 [認証ログデータベース管理] ページの構成

メニューから [認証ログデータベース管理] を選択します。

[認証ログデータベース管理] ページが表示されます。



図：[認証データベース管理] ページ（基本情報表示）



図：[認証データベース管理] ページ（記録情報表示）

表示内容について説明します。

項目	説明
表領域名	出力先の表領域名が表示されます。初期化されていない場合は、空文字になります。
データファイル	出力先表領域のデータファイル名が表示されます。初期化されていない場合は、空文字になります。
記録件数	データベースに出力されているログの件数が表示されます。初期化されていない場合は、0です。
最古の記録日	データベースに出力されている認証ログ情報の中で、最も古い日時項目の値が表示されます。初期化されていない場合は、空です。
最新の記録日	データベースに出力されている認証ログ情報の中で、最も新しい日時項目の値が表示されます。初期化されていない場合は、空です。

2.7.2 認証ログを記録する手順

認証ログ出力機能で出力先となるデータベースに表領域を作成し、認証ログ出力機能を有効にします。

1. [初期化] をクリックします。
初期化するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
2. [OK] をクリックします。
3. [基本情報表示] または [記録状況表示] をクリックして、表示項目を切り替えます。

2.7.3 認証ログを削除する手順

古くなって不要になったログを削除できます。なお、ログを削除できない設定の場合は、[ログ削除] メニューは表示されません。

1. [ログ削除] をクリックします。
[ログ削除] ダイアログボックスが表示されます。
2. 認証ログを削除する条件を、ラジオボタンで選択します。
 - ◆ 初期化されてからの期間を指定して認証ログを削除する場合
 - (1) [以下の日付に記録されたログまで削除する] を選択します。
 - ◆ 初期化されてからの件数を指定して認証ログを削除する場合
 - (1) [古いログから以下の件数分削除する] を選択します。
3. [OK] をクリックします。
指定した条件で、認証ログが削除されます。

2.7.4 認証ログの記録設定を解除する手順

認証ログを記録する必要がなくなった場合に、認証ログ出力機能で出力先となる表領域を削除し、認証ログ出力機能を無効にする時の手順です。

1. [設定解除] をクリックします。
設定解除を確認するダイアログボックスが表示されます。
2. [はい] をクリックします。
表領域が削除され、メッセージが表示されます。
データファイルは自動では削除されないため、データファイルの場所を確認し、削除してください。
 - 補足** ・データファイルの場所は、[基本情報表示] の [データファイル] に表示されます。設定を解除する前に、データファイルの場所を確認してください。
 - ・データファイルを残したままにしておくと、[初期化] をクリックできません。記録設定を解除したあとは、必ずデータファイルを削除してください。

2.8 管理アプリケーションを終了する

ここでは、管理アプリケーションを終了する手順を説明します。

2.8.1 管理アプリケーションを終了する手順

1. 画面右上の  ([ログアウト] アイコン) をクリックします。
ログアウトし、[ログイン] 画面に戻ります。
2. Web ブラウザーの [×] をクリックします。
管理アプリケーションが終了します。



付録

付録 A ログインサーバー管理アプリケーションを使うための準備

付録 A.1 設定できるパラメーター

認証ログを記録する設定を管理する機能で利用できる設定パラメーターについて説明します。
設定できるパラメーターは次のとおりです。

表：システムプロパティで編集する設定パラメーター

名前	説明	設定値の範囲	デフォルト値
com.fujifilm.fb.rms.login.authLog.canDelete	認証ログの削除を禁止する場合、falseを指定します。省略された場合は、trueが指定されたものとみなします。	trueまたはfalse	true
com.fujifilm.fb.rms.login.authLog.defaultRetentionPeriod	ログ削除で日付を指定して削除する際のデフォルト値を操作日の何年前にするを指定します。1を指定した場合、終了日は、操作日の前日の1年前になります。2を指定した場合、終了日は、操作日の前日の2年前になります。	1以上の値	1

付録 A.2 設定パラメーターを追加する

設定パラメーターは、リソース管理アプリケーションの [システムプロパティ編集] 画面で追加します。
設定パラメーターを追加する手順は次のとおりです。

1. Web ブラウザーを起動し、ArcSuite の URL にアクセスします。
URL は、[http:// {ArcSuite サーバーのホストアドレス} /ArcSuite/rmsadmin/] です。
[ログイン] 画面が表示されます。
2. ログインするユーザーの [ユーザー ID] と [パスワード] を入力します。
[ポータル] 画面が表示されます。
3. [システム管理] リンクをクリックします。
[システム管理] 画面が表示されます。
4. [このシステム] に表示されている RMS のリンクをクリックします。
[管理ログイン] 画面が表示されます。
5. [ログイン] をクリックします。
[リソース管理アプリケーション] 画面が表示されます。

6. メニューから [システムプロパティ編集] をクリックします。

[システムプロパティ編集] 画面が表示されます。

7. 設定したいパラメーターの右側に値を入力します。

8. [保存] をクリックします。

編集した内容が保存されます。

9. ArcSuite がインストールされているサーバーに、Administrator 権限を持つユーザーでログオンします。

10. Windows の [スタート] メニューから、[Windows 管理ツール] > [サービス] を選択します。

[サービス] 画面が表示されます。

11. サービスを選択して、[サービスの停止] をクリックします。次の順序で停止します。

補足 使用している環境によって、表示されないサービスがあります。その場合は、次に記載されているサービスを停止します。

- (1) ArcSuite DocumentGatheringAgent StorageProxy
- (2) ArcSuite DocumentGatheringAgent WebAdmin
- (3) ArcSuite DocumentGatheringAgent Register
- (4) ArcSuite Capturing Service Admin
- (5) ArcSuite Capturing Service
- (6) ArcSuite Monitoring Service
- (7) ArcSuite Web Application Service
- (8) ArcSuite Collabo Service
- (9) ArcSuite Repository Service
- (10) ArcSuite Repository Master Admin Service
- (11) ArcSuite kSearchDuo Service
- (12) ArcSuite Full Text Search Service
- (13) ArcSuite Basic Service

12. サービスを選択して、[サービスの開始] をクリックします。次の順序で開始します。

補足 使用している環境によって、表示されないサービスがあります。その場合は、次に記載されているサービスを開始します。

- (1) ArcSuite Basic Service
- (2) ArcSuite Full Text Search Service
- (3) ArcSuite kSearchDuo Service
- (4) ArcSuite Repository Master Admin Service
- (5) ArcSuite Repository Service
- (6) ArcSuite Collabo Service
- (7) ArcSuite Web Application Service
- (8) ArcSuite Monitoring Service
- (9) ArcSuite Capturing Service
- (10) ArcSuite Capturing Service Admin
- (11) ArcSuite DocumentGatheringAgent Register
- (12) ArcSuite DocumentGatheringAgent WebAdmin
- (13) ArcSuite DocumentGatheringAgent StorageProxy